

【分配金のお知らせ】

2013年5月16日  
野村アセットマネジメント株式会社

「野村新米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」「毎月分配型」の  
2013年5月15日決算の分配金について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村新米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」「毎月分配型」の2013年5月15日決算の分配金についてお知らせいたします。

今回の決算におきまして、基準価額の水準、ファンドが投資する外国投資信託のポートフォリオの平均最終利回り※(2013年4月30日現在4.2%)、為替取引によるプレミアム/コストの水準等を勘案し、「ブラジルリアルコース」は130円から100円に、「南アフリカランドコース」は100円から80円に、「トルコリラコース」は110円から80円に分配金を引き下げることといたしました。

一方、その他のコースにつきましては、コース毎の基準価額の水準、同ポートフォリオの平均最終利回り、為替取引によるプレミアム/コストの水準等を勘案し、前回決算の分配金額から変更しませんでした。

上記3コースの分配金引き下げに関する詳細な説明は、次ページ以降をご参照ください。

※ポートフォリオの平均最終利回りとは、ファンドが投資する外国投資信託の組入債券等(現金を含む)の最終利回りをその組入比率で加重平均したものです(現地通貨建)。

分配金額と基準価額は下表の通りです。

【分配金】(1万口当たり、課税前)

ファンド	円コース (毎月分配型)	豪ドルコース (毎月分配型)	ブラジルリアル コース (毎月分配型)	南アフリカランド コース (毎月分配型)	トルコリラコース (毎月分配型)
分配金額 (前回決算)	70円 (70円)	100円 (100円)	100円 (130円)	80円 (100円)	80円 (110円)
決算日の基準価額	10,128円	14,367円	9,047円	8,407円	8,298円
決算日の基準価額(分配金再投資) (前回決算)	14,537円 (14,306円)	21,712円 (22,055円)	19,027円 (18,603円)	16,795円 (16,585円)	16,821円 (16,395円)
分配金額設定来累計	3,680円	4,710円	6,860円	6,220円	5,800円

前回決算:2013年4月15日、設定日:2009年5月27日

基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

- ・分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

——— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ———

【「毎月分配型」の分配の方針】

原則、毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行ないます。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。また、毎年5月および11月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

- \*「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意下さい。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【分配金のお知らせ】

【ご参考:設定来の毎月の分配金実績】(1万口当たり、課税前)

ファンド	期間(年/月)	2009/7	2009/8～ 2009/12	2010/1～ 2011/8	2011/9～ 2012/8	2012/9～ 2013/4	2013/5
円コース(毎月分配型)		90円	80円		70円		
豪ドルコース(毎月分配型)		110円	100円				
ブラジルリアルコース(毎月分配型)		170円	150円			130円	100円
南アフリカランドコース(毎月分配型)		160円	140円			100円	80円
トルコリラコース(毎月分配型)		170円	150円	130円	110円		80円

\*設定日は、2009年5月27日。初回分配日は、2009年7月15日。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

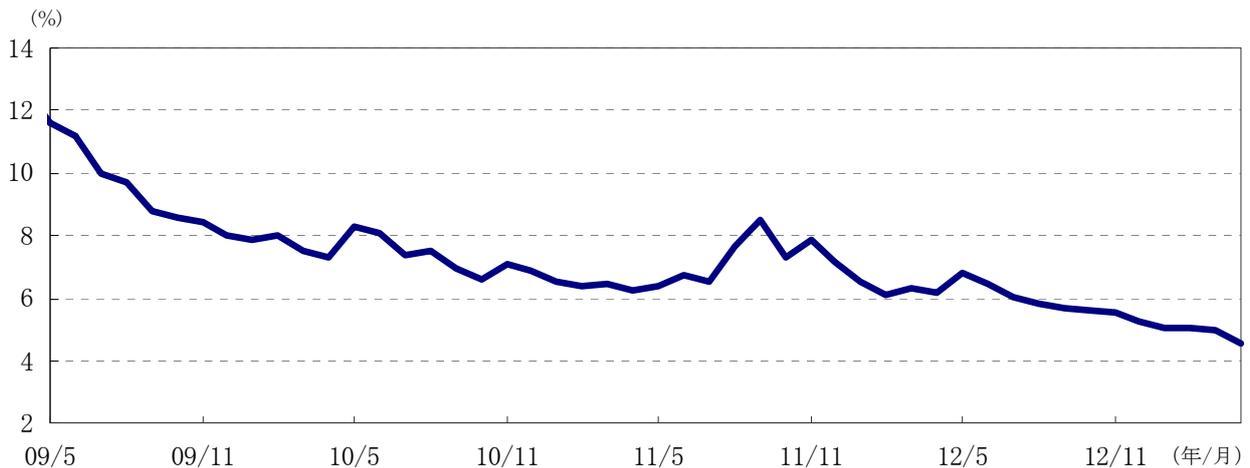
上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【ご参考:投資環境】

《米国ハイ・イールド債(BB～B格)の利回りの推移(米ドル建て、課税前)》

期間:2009年5月～2013年4月(月末値)

米国ハイ・イールド債(BB～B格)の利回りは、2009年5月末(ファンド設定時の月末)の11.6%から概ね低下傾向が続き2011年4月末に6.3%まで低下しました。その後一時的に8%を上回る水準まで上昇したものの、再び低下し、2013年4月末には4.5%となりました。利回りの低下は、債券価格の上昇となり基準価額にプラス寄与しましたが、利回りの低下以降に新たに投資した債券からのインカムゲイン(利子収入)は減少しました。



(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

米国ハイ・イールド債(BB～B格)の利回り: BofA・メリルリンチ・USハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-Bレイトド・コンストレインド・インデックス

BofA・メリルリンチ・USハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-Bレイトド・コンストレインド・インデックス(BofA Merrill Lynch US High Yield, Cash Pay, BB-B Rated, Constrained Index)に関する一切の知的財産権その他一切の権利はバンクオブアメリカ・メリルリンチに帰属します。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【分配金のお知らせ】

【各コースの分配金引き下げの背景】

《ブラジルリアルコース(毎月分配型)》

今回の決算におきまして、「ブラジルリアルコース」の分配金を130円から100円に引き下げました。

基準価額は、2011年8月頃から概ね10,000円を下回る水準が継続し、2013年5月15日現在9,047円となりました(グラフの点線赤枠部分)。2011年7月末を基準とする騰落率については、基準価額が-11.6%、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)が29.7%となりました。

ブラジルリアル(対円)の為替レートは2009年5月末以降、40円台後半～50円台前半の範囲で推移しましたが、2011年夏頃から円高ブラジルリアル安が進み、基準価額下落の一因となりました。2012年10月頃から円安ブラジルリアル高基調に転じ、2013年4月末現在48.5円となりました。

ブラジルリアルの短期金利は2009年9月以降概ね上昇傾向が続き、2011年6月に12%を上回る水準まで上昇しましたが、その後は低下傾向(2013年4月末現在7.2%)となったことから、為替取引によるプレミアムが低下しました。

基準価額の水準や米国ハイ・イールド債のインカムゲインの減少(2ページご参照)、為替取引によるプレミアムの低下などを総合的に勘案し、今回の決算において分配金を引き下げることとしました。

\*「為替レートの推移」と「短期金利の推移」の各グラフの点線赤枠部分は、「基準価額の推移」グラフの点線赤枠と同期間を示しています。

＜基準価額の推移＞

期間:2009年5月27日(設定日)～2013年5月15日、日次



2013年5月15日現在

基準価額(分配金再投資)	19,027円
基準価額	9,047円

基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＜ブラジルリアル(対円)の為替レートの推移＞

期間:2009年5月～2013年4月(月末値)



(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

＜ブラジルリアルの短期金利の推移＞

期間:2009年5月～2013年4月(月末値)



短期金利: CD(譲渡性預金証書)レート1ヵ月。(現地通貨ベース、課税前)

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【分配金のお知らせ】

【各コースの分配金引き下げの背景】

《南アフリカランドコース(毎月分配型)》

今回の決算におきまして、「南アフリカランドコース」の分配金を100円から80円に引き下げました。

基準価額は、2011年7月頃から概ね10,000円を下回る水準が継続し、2013年5月15日現在8,407円となりました(グラフの点線赤枠部分)。2011年6月末を基準とする騰落率については、基準価額が-15.7%、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)が21.3%となりました。

南アフリカランド(対円)の為替レートは2009年5月末以降、11円台半ば～12円台の範囲で推移しましたが、2011年夏頃から円高南アフリカランド安が進み、基準価額下落の一因となりました。2012年11月頃から円安南アフリカランド高基調に転じ、2013年4月末現在10.9円となりました。

南アフリカランドの短期金利は2009年5月末以降概ね低下傾向で推移(2013年4月末現在5.0%)したこと、為替取引によるプレミアムが低下しました。

基準価額の水準や米国ハイ・イールド債のインカムゲインの減少(2ページご参照)、為替取引によるプレミアムの低下などを総合的に勘案し、今回の決算において分配金を引き下げることとしました。

\*「為替レートの推移」と「短期金利の推移」の各グラフの点線赤枠部分は、「基準価額の推移」グラフの点線赤枠と同期間を示しています。

＜基準価額の推移＞

期間:2009年5月27日(設定日)～2013年5月15日、日次



2013年5月15日現在

基準価額(分配金再投資)	16,795円
基準価額	8,407円

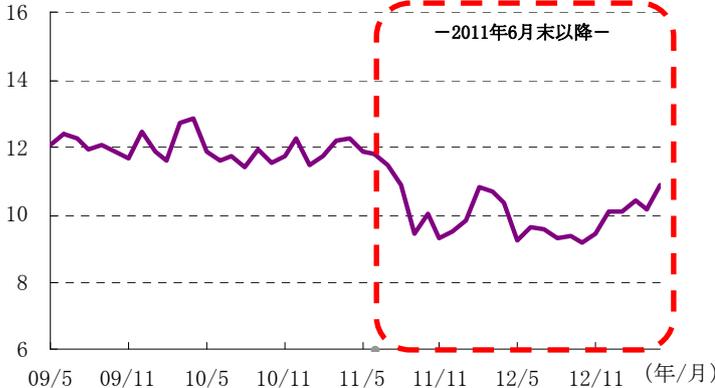
基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＜南アフリカランド(対円)の為替レートの推移＞

期間:2009年5月～2013年4月(月末値)

(円/南アフリカランド)



＜南アフリカランドの短期金利の推移＞

期間:2009年5月～2013年4月(月末値)

(%)



短期金利:ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリド・レート1ヵ月。(現地通貨ベース、課税前)

(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【分配金のお知らせ】

【各コースの分配金引き下げの背景】

《トルコリラコース(毎月分配型)》

今回の決算におきまして、「トルコリラコース」の分配金を110円から80円に引き下げました。

基準価額は、2010年5月頃から概ね10,000円を下回る水準が継続し、2013年5月15日現在8,298円となりました(グラフの点線赤枠部分)。2010年4月末を基準とする騰落率については、基準価額が-20.2%、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)が40.2%となりました。

トルコリラ(対円)の為替レートは2009年5月末以降、概ね円高トルコリラ安基調で推移し、基準価額下落の一因となりました。2012年に入ってから円安トルコリラ高基調に転じており、2013年4月末現在54.3円となりました。

トルコリラの短期金利は2009年10月以降、7%前後で推移した後上昇し、一時11%を上回る局面もありましたが、その後は低下(2013年4月末現在5.1%)したこと、為替取引によるプレミアムは低下しました。

基準価額の水準や、米国ハイ・イールド債のインカムゲインの減少(2ページご参照)、為替取引によるプレミアムの低下などを総合的に勘案して、今回の決算において分配金を引き下げることにしました。

\*「為替レートの推移」と「短期金利の推移」の各グラフの点線赤枠部分は、「基準価額の推移」グラフの点線赤枠と同期間を示しています。

＜基準価額の推移＞

期間:2009年5月27日(設定日)～2013年5月15日、日次



2013年5月15日現在

基準価額(分配金再投資)	16,821円
基準価額	8,298円

基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもものとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＜トルコリラ(対円)の為替レートの推移＞

期間:2009年5月～2013年4月(月末値)



＜トルコリラの短期金利の推移＞

期間:2009年5月～2013年4月(月末値)



短期金利:1ヵ月LIBOR。(現地通貨ベース、課税前)

(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

[ファンドの特色]

- 「野村新米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」は、11本のファンド(「毎月分配型」と「年2回決算型」)を有する、為替ヘッジ手法の異なる5つのコース(円コース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース)およびマネープールファンド(年2回決算型)から構成されています。
- 各コース(マネープールファンドを除く5つのコースを総称して「各コース」といいます。)
  - ◆高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
  - ◆米ドル建ての高利回り事業債(ハイ・イールド・ボンド)を実質的な主要投資対象\*とします。  
※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
  - ◆円建ての外国投資信託「ノムラ・カレンシー・ファンドーUSハイ・イールド・ボンド・インカム」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。  
・「ノムラ・カレンシー・ファンドーUSハイ・イールド・ボンド・インカム」には、為替ヘッジ手法の異なる5つのクラスがあります。

各コース	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替ヘッジ手法
円コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産を、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
豪ドルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産を、原則として対豪ドルで為替ヘッジを行いません。
ブラジルリアルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産を、原則として対ブラジルリアルで為替ヘッジを行いません。
南アフリカランドコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産を、原則として対南アフリカランドで為替ヘッジを行いません。
トルコリラコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産を、原則として対トルコリラで為替ヘッジを行いません。

- ◆通常の場合においては、「ノムラ・カレンシー・ファンドーUSハイ・イールド・ボンド・インカム」への投資を中心とします\*が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。  
※通常の場合においては、「ノムラ・カレンシー・ファンドーUSハイ・イールド・ボンド・インカム」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。
- ◆各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- マネープールファンド
  - ◆安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いません。
  - ◆円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象\*とします。  
※「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
  - ◆「野村マネー マザーファンド」への投資を通じて、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。
  - ◆ファンドは「野村マネー マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「野村新米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

● 分配の方針

◆ 毎月分配型

原則、毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。  
分配金額は、分配対象額の範囲で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行いません。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。また、毎年5月および11月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。  
※「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意下さい。

◆ 年2回決算型

- ・各コース  
原則、毎年5月および11月の15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。  
分配金額は、分配対象額の範囲で、原則として利子・配当等収益等および基準価額水準等を勘案して委託会社が決定するものとします。
- ・マネープールファンド  
原則、毎年5月および11月の15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。  
分配金額は、原則として基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

\*委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

[投資リスク]

各ファンド(「マネープールファンド(年2回決算型)」を除く)は、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

「マネープールファンド(年2回決算型)」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成31年5月15日まで(平成21年5月27日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。  
【年2回決算型】年2回の決算時(原則、5月および11月の15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌々営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位  
なお、「マネープールファンド」は、「年2回決算型」の他のファンドからのスイッチング以外によるご購入はできません。  
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 【各コース】ご換金申込日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 【マネープールファンド】ご換金申込日の翌々営業日の基準価額「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 各コースは、販売会社の営業日であっても、申込日当日あるいは申込日の翌営業日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。  
・ニューヨーク証券取引所 ・ニューヨークの銀行  
・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。

【当ファンドに係る費用】

(2013年5月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.15%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 なお、「マネープールファンド」へのスイッチングの場合は無手数料 ※詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	【各コース】 ファンドの純資産総額に年0.924%(税抜年0.88%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 年1.624%程度(税込) ※ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。 【マネープールファンド】 ファンドの純資産総額に年0.5775%(税抜年0.55%)以内(平成25年2月8日現在年0.021%(税抜年0.02%))の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、ファンドに関する租税、監査費用等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	【各コース】 1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 【マネープールファンド】 ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依りて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104  
(受付時間)営業日の午前9時~午後5時

★インターネットホームページ★  
http://www.nomura-am.co.jp/

★携帯サイト★  
http://www.nomura-am.co.jp/mobile/

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

# 野村新米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
いよぎん証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。